



センター NEWS

Wakayama
International
Exchange
Center
News

2018年1月発行

南カリフォルニアから日系アメリカ人学生2名が来県しました！



【表紙写真】左から ジェシカ・リーさん（日系4世 ルーツ-那智勝浦町）、リンジー・マスカワさん（日系4世 ルーツ-太地町・串本町）、木野大輔氏（マスカワさんの親戚）

～日本での体験はとても特別なものでした。
私たちの写真と報告をぜひご覧ください！



《内容 38号》

- P1-南加子弟受入事業の報告-ジェシカ
- P2-南加子弟受入事業の報告-リンジー
- P3-関連イベント情報等
- P4-サマーフェスタ 2017 報告 Part 1
- P5-和歌山と海外とのつながり

～鎖国中に和歌山に来
たアメリカ商船～

URL : <http://www.wak-kokusai.jp>





南加和歌山県人会子弟受入事業とは？

受入期間：平成29年7月10日～23日

北南米には多くの和歌山県民が移住しており、多数の県人会があります。和歌山県国際交流センターでは、アメリカにある南カリフォルニア和歌山県人会の青少年を対象にした南加和歌山県人会子弟受入事業を毎年実施しています。日本の生活体験を通して自分たちのルーツである日本や和歌山について理解してもらおうとともに、日本とアメリカとの相互理解を深めることを目的に、本年度も実施しました。

ジェシカ・リー Jessica Lee 19歳



Every single person there was so friendly and kind, I have no clue what I was worried about...

プロフィール

出身：アメリカ合衆国カリフォルニア州

大学：メリーランド大学 生物学専攻

趣味：水泳、写真、ネイルアート、ウエイト

リフティング、旅行、書道、和食料理

家族の出生地：那智勝浦町（母方の祖父）



リーさんのご親戚（那智勝浦町）

念願だったおじいちゃんの従兄弟の家族に出会うことができました。家系図やアルバムを見ながら、お互いの家族構成を説明し合い、またそれにまつわる話で盛り上がりました。とても感動的な対面でした。また携帯電話のアプリで親戚の子どもたちと繋がりました。今後の日米の家族の交流を深めていけるきっかけとなりました。いつかカリフォルニアに彼らを招待したいです。



茶道体験

ゆかたの着付けと茶道の体験をしました。茶道では、お互いに楽しい一時を過ごすための作法を実践しました。また、書道が好きで日本文化に大変興味がありましたので、とても楽しかったです。



前半ホームステイ家族

和歌山城などの観光地に行きました。また家族とトランプゲームをしたりカンフー教室でカンフーのレッスンを受けたりしました。家族の一員として迎え入れてくれたことに感動・感謝しています。



後半ホームステイ家族

子供たちに英語の絵本を読んだり一緒に花火をしたりしました。クッキングも忘れられません。保育所に子供を連れて行くと、別れ際に「エッカ！」と言って泣き叫ぶ姿が切なくてたまりませんでした。

★ リンジー・マスカワ Lindsay Masukawa 19歳 ★

プロフィール

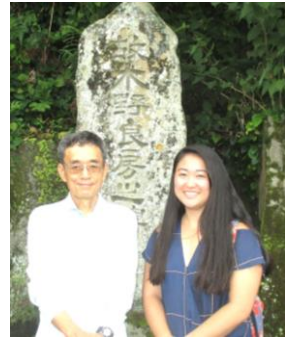
出身：アメリカ合衆国カリフォルニア州
 大学：UCLA大学 生理学専攻
 趣味：バスケットボール、和太鼓、音楽鑑賞、お菓子作り、国外旅行
 家族の出生地：東牟婁郡太地町（父方の祖父）
 東牟婁郡串本町（母方の祖母）

Only resulting in me wishing that my stay was longer than just two weeks . .



島先生、木野仲輔氏

滞在中、私が想像していた以上にたくさんの親戚の人たちと会うことができました。また私の先祖のルーツを深く学ぶことができました。木野仲輔氏は1876年紀伊大島の小学校創設に力を尽くした寺子屋の師匠で、また大島村村長を務めた方です。私の祖母の従兄弟（木野大輔氏）の曾祖父にあたります。1890年トルコ軍艦が串本町沖で座礁した際に救



木野仲輔氏の顕彰碑

出、事後処理の陣頭指揮にあたりました。樫野崎にある記念碑に刻まれた木野仲輔の名前を発見した際、私は彼の後孫であると共に、和歌山県



大島小学校生徒との交流

館を視察しました。日系アメリカ人である私にとって両国の友好関係の歴史を学べたことは大切な宝となりました。今後も日米の友好関係を支援していきたいです。

協力：木野大輔（木野仲輔広報事務所）



木野大輔氏の従姉妹の家族

《H29年度実施スケジュール》

7/10	関空到着、ホテル宿泊
7/11 ～ 7/13	紀南研修旅行（那智勝浦町、太地町、串本町） 親戚との面会、熊野那智大社、トルコ記念館・ 日米修交記念館視察、大島小学校訪問等 ホームステイ（10泊・4家庭）
7/16	浴衣着付け 協力：市川美佐子先生 グローバルセミナー講演（国際交流イベント）
7/17	茶道体験 協力：和歌山日米協会 和歌山日米協会主催BBQパーティ
7/18	和歌山県知事表敬訪問 和歌山県議会議長表敬訪問 理事長主催昼食会
7/23	関空出発

What's next? 海外移住者子弟受入事業

【南カリフォルニア】

来年度7月、南カリフォルニアから日系アメリカ人学生2人が来県予定。グローバルセミナーにてプレゼンの予定。

【ブラジル・パラグアイ】

今年度1/26～2/16にブラジル・パラグアイから青少年2人が来県し2月グローバルセミナーにてプレゼンの予定。

【メキシコ】

来年度7月にメキシコから2人の日系メキシコ人が来県予定。

平成29年度後期ボランティア登録説明会



和歌山県国際交流センターでは、センターの事業を理解し、活動していただけるボランティアを年に2回募集しています。活動にあたっては研修会を受講していただき、登録していただくこととなっております。今回は新たに田辺地域を加え、和歌山市との2会場での説明会を開催しました。



【田辺会場】

日時：平成29年10月1日（日）

14時00分～15時00分

場所：田辺市民総合センター2階会議室4



【和歌山会場】

日時：平成29年10月7日（土）

13時30分～14時30分

場所：和歌山ビッグ愛8階

国際交流センターサークル室

説明会ではセンターで活動できるボランティア5種類（日本語、通訳・翻訳、ホームステイ・ホームビジット、日本・外国文化紹介、情報収集提供）と活動方法の説明がありました。登録説明会には、和歌山市・田辺市で合計23名の方にご参加いただき、そのうち21名の方が新規登録されました！

ブラジル・パラグアイから青少年が来県します！

●子弟のプロフィール

平成30年1月26日から2月16日	国	 ブラジル和歌山県人会子弟	 パラグアイ和歌山県人会子弟
	名前	馬場 マテウス 健市 (Matheus Kenichi baba)	松宮 大江 クリスティアン 淳 (Cristian Jun Matsumiya Ohe)
	性別	男性	男性
	写真		
	出身地	サンパウロ州	イタプア州
	学生	高校生	大学生（農学部）

サマーフェスタ2017の現場から

Part 1

8月27日(日)12時30分から16時まで、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8階でサマーフェスタ2017を開催しました。175名の参加者に様々な体験をしていただきました。

英語、フランス語、アラビア語、韓国語の外国人講師によって運営された「外国語サロン」、ベリーダンス、空手、カポエイラの演舞・演武体験、さらにいろいろな言葉で読み聞かせなども行いました。今回は、ステージパフォーマンスと絵本の読み聞かせについて、交流の様子などご紹介します。



ブラジルの格闘舞踊、カポエイラ
【カポエイラ和歌山】



エジプト発祥といわれる伝統的な踊り、
ベリーダンス【チームHaflat】



絵本の読み聞かせコーナーでは、参加していた子どもたちがたちまち絵本の世界に引き込まれ、参加者全員で絵本の世界を共有したような一体感を感じることができました。【言の葉】



日本を代表する武道、空手
【NPOニコ 総武道総武会】

・・・和歌山と海外とのつながり・・・



ペリーの黒船来航より62年も前に2隻の米国商船が紀伊大島に来航したことをご存じですか。

日本が鎖国中の1791年(寛政3年)4月29日から5月4日、米国商船レイディ・ワシントン号とグレイス号が、紀伊大島に停泊しました。米国の文献によると、中国からの帰路、ラッコの毛皮を交易しようとしたけれど、大島の住民は毛皮の使用方法を知らなかったため商売にはならなかったようです。

2016年の11月1日に日米修交225周年記念式典が串本町で開催されました。式典ではアレン・グリーンバーグ駐大阪・神戸米国総領事が挨拶し、寄港を記録した航海日誌を発見した歴史研究家スコット・リドレー氏、ペリー提督の兄の子孫マシュー・カルブレイス・ペリー氏が講演を行いました。

航海日誌には、最初は警戒していた島民もしだいに彼らを受け入れ、薪や米を提供し、一緒にご飯をともしたと思われる記述もあるそうです。

式典では、キャロライン・ケネディ駐日米国大使館特命全権大使(当時)の「建国後間もない米国と日本が初めて出会ったとされるこの来航は先人たちの勇気と先見の表れです。」とのビデオメッセージを上映しています。

昨年、南加子弟受入事業で来県したリンジー・マスカワさんとジェシカ・リーさんも、当時の様子を展示した日米修交記念館を訪問し、この日米間の歴史的事実に驚くとともに、日米修交記念館監修委員でもある太地町の櫻井敬人学芸員の解説に興味深く耳を傾けていました。

日米修交記念館で日米友好の歴史の第一歩にふれてみるのはいかがでしょうか。



◎公益財団法人和歌山県国際交流協会(WIXAS)は賛助会員を募集しています。

和歌山県内の各分野での国際交流活動、国際相互理解及び国際協力を促進するとともに、在住外国人への支援を推進しています。ことば、民族、国境を越えて誰にでも開かれた地域社会づくりを図り、ひいては国際社会の平和と発展に寄与することを目的に活動しています。

ぜひ当協会の活動にご賛同ください。

《特典》イベントのご案内/情報誌の配布

〒640-8319

和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 8F

TEL: 073-435-5240 / 073-423-5717

FAX: 073-435-5243

URL: <http://www.wixas.or.jp>

和歌山県国際交流センター
〒640-8319

和歌山市手平 2-1-2

和歌山ビッグ愛 8F

TEL: 073-435-5240

FAX: 073-435-5243

開館時間:

水曜日・祝日を除く

毎日 10:00~18:30

URL:

<http://www.wak-kokusai.jp>

